

《経営課題1 子育て・教育環境の一層の充実》

- すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生み、育てられるようなあたたかいまちをめざして、子育て支援を充実させる。
- 家庭の経済状況に関わらず、全ての子どもが健やかに成長し、自らの可能性を最大限発揮できる教育環境の実現を学校や地域と連携しめざす。



【戦略1-1 子育て支援の充実】

大阪市版ニューボラをベースとした家族ぐるみの支援を強化するとともに、地域全体で子育てを支える意識の醸成とそのベースとなる見守り・子育て支援の仕組みづくりを推進する。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

子育てに関する相談やサポートに満足している割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに70%以上 → 達成状況 72.9% **達成**

＜具体的取組＞

具体的取組	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 乳幼児とその保護者の健康を保つ支援 大阪市版ニューボラ(旭区)による妊娠期から切れ目のない支援 ・子育てに関する各種相談 ・プレパパママサロン	概要版 p.7	「常設健康相談」、「乳幼児健診」に来所する保護者に11月にアンケートを実施し、担当保健師及び地区担当制を知っているという割合 目標値 50%以上 → 達成状況 58.6% 達成
2 「重大虐待ゼロ」をめざす取組 あさひ子育て安心ネットワーク会議による地域及び子育て機関との連携強化 ・要保護児童対策地域協議会 ・あさひ子育て見守り事業 ・あさひキッズネット会議	概要版 p.8	乳幼児健診時におけるキッズカードの所持率 目標値 50%以上 → 達成状況 未測定
3 制度の周知・相談機能の充実 各種子育て支援事業の展開と相談支援機能の充実 ・子育て情報誌の発行 ・子育て支援室のホームページ作成 ・お母さんのほっとタイム ・親子の絆プログラムBP1 ・さくらんぼグループ(3歳児)、プレさくらんぼグループ(2歳児) ・幼稚園・保育所(園)情報フェア ・ペアレントトレーニング	概要版 p.9	講座やイベントでのアンケートにおける満足度 目標値 70%以上 → 達成状況 98% 達成



【戦略1-2 子ども自身の生きる力の育成支援】

学校及び地域との連携のもと、学力・体力・生活力の向上を支援する取組を展開する。



アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

児童・生徒の学習習慣が確立されていると思う区民等の割合（区民アンケート、教員アンケート）

目標 令和2年度までに60%以上 → 達成状況 区民 72.5% 学校 100% **達成**

＜具体的取組＞

具体的取組	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 中学生の基礎学力定着支援 地域ボランティアや元教員、民間事業者による放課後学習支援 ・旭ベーシックサポート事業 ・旭塾	概要版 p.11	学習支援事業に参加した生徒の学習意欲の向上や宿題、自主学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校 目標値 4校 → 達成状況 4校 達成
2 小学生の学力向上支援 放課後学習支援や学力分析機能が付いた単元テストの実施 ・学力アップアシスト事業 ・児童の学力向上サポート事業	概要版 p.12	学習支援事業に参加した児童の学習意欲の向上や学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校 目標値 10校 → 達成状況 10校 達成
3 小学生の体力・運動能力向上支援 ダンスやなわとびなど専門分野の講師の派遣 ・児童の運動能力向上サポート事業	概要版 p.13	体力・運動能力向上支援事業に参加した児童の運動能力・体力の向上について、成果があったと感じる学校 目標値 6校以上 → 達成状況 6校 達成
4 子どもがたくましく生きる力をつける取組 様々な家庭要因により生活・学習習慣が十分身につけていない中学生等に対する学習できる居場所の提供 ・あさひ学び舎事業	概要版 p.14	あさひ学び舎事業に参加した中学生の高等学校等への進学率 目標値 90% → 達成状況 100% 達成
5 子どもの自立心を育むための支援 中・高生に対する様々な職業人と接し、職業観や職場環境に触れる機会の提供 ・中・高生自立育み事業	概要版 p.15	子どもの自立心を育むための事業参加者の満足度 目標値 80%以上 → 達成状況 80% 達成
6 こども食堂における学習等支援 こども食堂の学習等取組や運営の自立に対する支援 ・こども食堂支援事業	概要版 p.16	こども食堂において学習できる環境が整い、学習・生活習慣がついたと感じる運営者の割合 目標値 60%以上 → 達成状況 未測定

《経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開》

- 健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざす。
- 障がいのある方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心してともに暮らせるまちをめざす。



【戦略2-1 健康寿命を延ばす取組】

医師会等と連携し、生活習慣病や認知症の予防など健康維持に関する意識啓発を行うとともに、地域での自主的な健康づくり活動を支援する。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

健康意識の高まりを感じる区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに83%以上



達成状況 79.3%



課題

ワクチン接種や疫学調査など新型コロナウイルス感染症対策を通常の施策に優先して実行しなければならない状況にある。

今後の対応方針

ワクチン接種の推進とコロナ感染防止対策の普及を進め、いきいき百歳体操等の自主活動への支援を進める。

＜具体的取組＞

具体的取組	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 健康づくりの支援 区民の健康意識の高揚や区民の健康寿命の延長 ・広報あさひ、ホームページ、ティッシュ型ピウでがん検診受診の周知 ・あさひ健康フェスタは新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中止	概要版 p.21	あさひ健康フェスタの参加者に対するアンケートを実施し、「健康寿命を延ばそうと思う」と答えた方の割合 目標値 70%以上 → 達成状況 未測定
2 高齢者の活力向上支援 ・「いきいき百歳体操」の各グループの取組をリーフレットにより情報共有 ・健康大学の開催	概要版 p.22	いきいき百歳体操参加者アンケートで、筋力の維持増進に繋がっていると答えた割合 目標値 80%以上 → 達成状況 83.3% 達成

【戦略2-2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組】

福祉関係機関やNPO法人、ボランティア団体等のネットワークを強化し、見守りや支援の体制を整える。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

障がい者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに65%以上



達成状況 68.9%



高齢者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに65%以上



達成状況 69.4%



＜具体的取組＞

具体的取組	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 誰もが活躍できる仕組みの確立 ・旭区地域福祉計画の策定 ・障がい者福祉事務所の授産製品の物販活動支援 ・「障がい者週間」に合わせて、区庁舎前や地下鉄駅掲示板などで、障がい者の権利に関する啓発活動の実施	概要版 p.24	授産製品の物販等の活動をしている団体や事業所を対象とした活動の支援についてのアンケートでの満足度 目標値 80%以上 → 達成状況 92.5% 達成
2 誰もが安心して暮らせる仕組みの確立 ・「旭区認知症安心ガイド」の改訂 ・高齢者等の要援護者の見守りツールとして「お守りカード」を作成、配布 ・9月の高齢者月間に、広報あさひ特集号で相談機関等の周知を実施	概要版 p.25	高齢者の相談機関「地域包括支援センター」の認知度（区民アンケート） 目標値 50%以上 → 達成状況 50.2% 達成
3 あさひあったかバスの運行支援 区内を循環するあさひあったかバスの運行支援	概要版 p.26	1カ月平均の利用人数 目標値 平均4,500人以上 → 達成状況 平均5,538人 達成

《経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出》

- 豊かなコミュニティをさらに強めていただき、区民の皆様の自律的な地域運営を推進し、サークル活動などが活発な、にぎわいあるまちづくりの取組を進める。
- まちの魅力が高まり、区民の皆様が地域に愛着や誇りをさらに持っていただけるまちをめざすとともに、多くの人々が訪れる活気のあるまちをめざす。



【戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進】

小学校区単位で地域課題の解決に取り組む地域活動協議会の活動支援を行うとともに、スポーツや文化活動を通じたコミュニティの育成に取り組む。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

地域が自律的に運営されていると感じる区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに65%以上 → 達成状況 69% **達成**

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合（地活協の構成団体へのアンケート）

目標 令和5年度：90%以上かつ前年度実績値以上 → 達成状況 82.9%

課題

コロナ禍において多くの地域活動に制限がかかる状況が続いており、活動そのものが満足に実施できていない。また、令和2年度区民アンケートによると、地域活動協議会の認知度は前年と比較して向上（40.0%→56.9%）してはいるが、引き続き、地活協の認知度向上及び活動の再開に向けた支援が必要である。

今後の対応方針

- ・新型コロナウイルスの感染状況を見極めつつ、事業の再開に向けた支援、代替事業や自主財源確保のための取組の検討等、各地域に応じたきめ細かな支援に取り組む。
- ・地活協の認知度向上のための広報発信の強化等に取り組むことで、地域コミュニティの希薄化を防ぐ。

＜具体的取組＞

内容	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進 中止・休止となっている活動の再開に向け、助言・提案や他区事例等の情報共有を実施	概要版 p.31	地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合（地活協の構成団体へのアンケート） 目標値 85%以上 → 達成状況 77.4%
2 コミュニティの活性化 コミュニティ活性化につながる催しを地域の各種団体と協働し実施 ・区民まつり（オンライン開催） ・区民スリーアイズ大会	概要版 p.32	コミュニティ活性化のための各種催しを知っている区民の割合（区民アンケート） 目標値 90%以上 → 達成状況 89.3%
3 文化芸術によるコミュニティ育成 文化芸術を通じたコミュニティ育成の取組を実施 ・旭区総合文化祭 ・旭区文化芸術振興連絡会の運営 ・旭区民センターに国産木材のベンチを設置	概要版 p.33	①旭区文化芸術振興連絡会の会員アンケートにおいて、当会に参加しつながりや活動が広がったと感じた会員の割合 ②イベント参加者アンケートにおいて、文化芸術を通じた旭区のコミュニティが活性化したと感じる割合 目標値 ①70%以上 ②50%以上 → 達成状況 ①75% ②62.6% 達成
4 生涯学習の推進 生涯学習関連機関・区民ボランティア・社会教育関係団体等と連携し生涯学習ルーム等の事業を実施	概要版 p.34	生涯学習講座等の参加者アンケートにおいて、参加することで人と人がつながり、コミュニティの活性化に寄与すると感じると回答した人の割合 目標値 80%以上 → 達成状況 98% 達成
5 人権施策の推進 「大阪市人権尊重の社会づくり条例」に基づいた事業の実施 ・旭区ふれあいシアター ・じんけんあさひの発行 ・大阪市人権啓発推進員旭区連絡会の開催 ・にほんご教室 ・人権相談窓口	概要版 p.35	人権啓発事業の参加者アンケートで、人権に対する理解が深まったと回答した割合 目標値 80%以上 → 達成状況 81% 達成

【戦略3-2 まちの魅力創出と地域資源を活用したにぎわいづくり】

「旭区ブランド」として区の魅力を発掘・発信するとともに、城北公園など地域資源を積極的に活用したにぎわいづくりを行う。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

地域のにぎわいや活性化が進んだと感じる区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度末 80%以上 → 達成状況 71%



課題

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、計画していたイベントや取組については中止や延期を余儀なくされており、実施方法等を検討する必要がある。

今後の対応方針

新型コロナウイルス感染症にかかる感染防止対策の検討などを行い、取組を進めていく。

＜具体的取組＞

内容	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 まちの魅力創出と発信 旭区の魅力に対する関心の向上、定住促進を図るための取組の実施 ・旭区ブランドの認定 ・『旭区検定』の実施 ・区の魚（イタセンパラ）の保全活動及びPR ・小学校での花菖蒲栽培 ・音楽を通じたにぎわいイベント ・大阪工業大学との連携事業の推進	概要版 p.37	一般紙における旭区の魅力発信件数 目標値 5件以上 → 達成状況 8件 達成
2 城北公園の魅力向上 地域の活性化につなぐ城北公園フェアは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により開催中止	概要版 p.38	城北公園フェア 2020 の区外からの来場者割合 目標値 70%以上 → 達成状況 未測定
3 商店街の魅力向上 商店街の魅力向上につながる取組やインバウンド誘致の取組を実施 ・空き店舗誘致に向けた若手店主向け勉強会の実施 ・インバウンド誘致に向け体験メニュー案内ホームページにフィリピン語・ベトナム語ページを追加	概要版 p.39	商店街に魅力を感じる区民の割合（区民アンケート） 目標値 75%以上 → 達成状況 73.7%

《経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化》

- 地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限にくい止めることができる体制をつくとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。
- 犯罪や交通事故のない、安全で安心して暮らせるまちづくりを、関係機関や地域と協働してめざす。



【戦略4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実】

災害時の初動に強い自助・共助（ご近助）の地域づくりをめざし、防災意識の啓発や防災物資の配備を行う。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

旭区の地域防災体制に満足している区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに70%以上

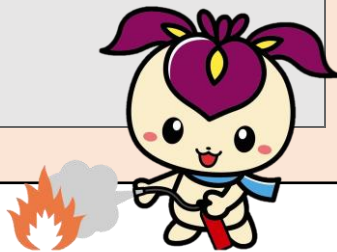


達成状況 79.7%



＜具体的取組＞

具体的取組	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 地域防災意識の向上 防災啓発の実施 ・防災啓発講座 ・広報紙による防災啓発 防災訓練の実施 ・避難所開設訓練を含む防災演習・ワークショップ ・地域防災リーダー訓練 ・区職員の地域の避難所開設訓練への参加	概要版 p.43	各家庭において、防災対策をとっている区民の割合（区民アンケート） 目標値 60%以上 → 達成状況 79.9% 達成
2 地域防災力の底上げ 防災拠点の整備・充実 ・備蓄物資等の資器材や新型コロナウイルス対策用物品を配備 地域や関係機関等との連携 ・地域防災担当者合同連絡会 ・空家に関する専門機関の情報提供や個別相談を行うセミナーの開催 初期消火体制の維持 ・大型粉末消火器の配備	概要版 p.44	旭区の防災物資等の整備状況等に満足している区民の割合（区民アンケート） 目標値 60%以上 → 達成状況 80% 達成



【戦略4-2 地域防犯力の強化】

警察等関係機関と連携し、防犯カメラの設置など防犯環境の整備を進める。

アウトカム（達成）指標（めざす状態を数値化した指標）

区による防犯関係の取組が成果につながっていると感じている区民の割合（区民アンケート）

目標 令和2年度までに75%以上



達成状況 79.1%



＜具体的取組＞

具体的取組	取組実績等	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
1 防犯対策の強化 警察と連携し、地域と協働して防犯啓発を実施 ・E V車による青色防犯パトロール ・自転車盗難防止キャンペーンやひったくり防止キャンペーン等の実施 ・防犯カメラの維持管理等	概要版 p.46	令和2年の街頭における犯罪発生件数を前年より減少 目標値 375 件以下 → 達成状況 347 件 達成
2 交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化 旭署など関係機関との緊密な連携による防犯・交通安全の取組 ・区民参加の街頭啓発等 ・警察と連携した自転車のマナーアップや放置自転車対策としての啓発活動 ・駅などにおける効率的な自転車撤去の実施	概要版 p.47	令和2年の区内自転車交通事故発生件数を前年より減少 目標値 93 件以下 → 達成状況 63 件 達成

